

令和元年 12 月 24 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 510 回 構造懇話会 令和元年度 新例会のご案内

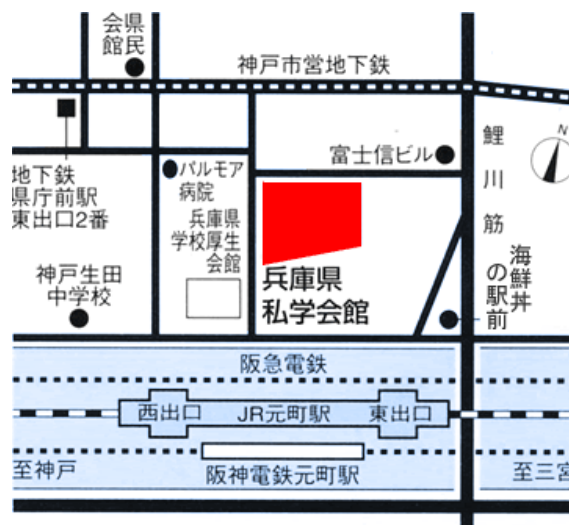
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
令和元年度の新例会を下記のとおり開催いたします。
新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市および各会社、団体の関係部局にもご案内いただき、活発な討議を
期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和 2 年 1 月 15 日 (水) 13:15～16:45 (開始が早くなっています)
○新例会終了後、懇親会(2 時間、会費制 5,000 円/人程度)を開催いたします。
別添「懇親会申込書」で 1/7(火)までに申込みをお願いいたします。
2. 場 所 兵庫県私学会館 4F 大ホール (いつもの例会会場と異なります)
神戸市中央区北長狭通 4-3-13 TEL 078-331-6623
3. テーマ
『橋梁メンテナンスの最新技術 ～災害復旧と老朽化対策～』
○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先] 〒567-0087 大阪府茨木市丑寅 2-1-34
協和設計株式会社 赤木 昌詩
TEL : 072-627-9351 / FAX : 072-627-9357 / e-mail : akagi@kyowask.co.jp

[案内図] 新例会会場 兵庫県私学会館 4F 大ホール
懇親会会場 兵庫県私学会館 1F レストラン(ハナワグリル)



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 510 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：『橋梁メンテナンスの最新技術 ～災害復旧と老朽化対策～』

日 程：令和 2 年 1 月 15 日（水）

時 間：13：15～16：45

場 所：兵庫県私学会館 4F 大ホール

記

1. 開会の挨拶 13:15～13:20

構造懇話会 会長 森川 英典

2. 大見学会報告 13:20～13:55
「 視察橋梁紹介 」

日本橋梁株式会社 生産・技術グループ 小西 日出幸 氏

3. 特別講演Ⅰ 13:55～15:00
「 損傷鋼部材の当て板補修法 」

関西大学環境都市工学部都市システム工学科准教授 石川 敏之 氏

- 休憩 15:00～15:15

3. 特別講演Ⅱ 15:15～16:20
「 関空連絡橋の被災からの復旧及び橋梁リニューアルプロジェクトについて 」

西日本高速道路株式会社 関西支社 橋梁担当部長 佐溝 純一 氏

4. 公開座談会まとめ 16:20～16:40
「 構造懇話会の今後の方向性について 」

阪急設計コンサルタント 都市土木部 部長 岡重 嘉泰 氏

5. 閉会の挨拶 16:40～16:45

構造懇話会 副会長 嵯峨 晃

第 510 回 構造懇話会 新例会 特別講演の概要

特別講演Ⅰ 「 損傷鋼部材の当て板補修法 』

①報告者

関西大学環境都市工学部都市システム工学科 准教授 石川 敏之 氏

②報告内容

損傷鋼部材への当て板補修としては、鋼板を高力ボルト接合補修することが一般的であるが、当て板補修部の応力は計算値と異なることが報告されている。その原因について、力の伝達のメカニズムの解明と損傷鋼部材に生じる応力の推定法を説明する。さらに、高力ボルトと接着接合を併用した場合の接合、CFRP 接着補修による力の伝達について紹介する。

特別講演Ⅱ 「 関空連絡橋の被災からの復旧及び橋梁リニューアルプロジェクトについて 』

①報告者

西日本高速道路株式会社 関西支社 橋梁担当部長 佐溝 純一 氏

②報告内容

平成30年9月4日に関西地方を直撃した台風21号の風によりタンカー船が関西国際空港連絡橋の衝突し、橋桁に大きな損傷を受けた。機能不全に陥った海上空港へのアクセス路である連絡橋に関して、被災直後の仮復旧を経て、7ヶ月後の完全復旧までの経緯、取組等を紹介する。

また、老朽化した橋梁の床版を更新するなど、現在実施中の高速道路リニューアルプロジェクトの概要を紹介する。